



夢っくすニュース

かわらばん UMEMEX

松本城と小布施町探索ツアーの報告



↑松本城（カラス城）バックに記念撮影

第16号 11月号の目次:

夢っくす活動報告	1 p
各部会からのお知らせ	2,3 p
夢っくすカレンダー11月	4 p
会員紹介第15回	4 p
事務局だより	4 p



↑七五三の子供たちといっしょに
レポートのパンさんは左から3番目

11月2日、とても天気恵まれ行楽日和な1日でした。UMEXメンバー7人と学生19人で「松本城と小布施町探索ツアー」に行ってきました。連休の中日ということもあって、交通渋滞にみまわれ、松本城までバスを降りて歩くことになりました。その途中で立ち寄った神社では、ちょうど七五三のお参りに来ていた子供に出会い、写真を撮りました。いい記念になったのではと思います。松本城が見えた時の、ところどころからおこる“Oh〜”という歓声。きれいな青空に良く映えていました。天守閣まで上ったのですがこれがまた結構急で…。翌日筋肉痛になったのは私だけでしょうか？遅いお昼をすませ、小布施町に向かったのですが十分な時間が無かったのが少し残念でした。それでも、栗ソフトを食べたり、「北斎館」を見学したり、お酒の試飲やショッピングなど、あたりが暗くなるまで楽しみました。以下は上海からの留学生パンさんのレポートです。

Bus Trip to Matsumoto & Obuse

Many visitors to Matsumoto Castle, including me, will be amazed by the well maintenance of the castle. Being one of the few existing castles of the feudal era, it was built in the period between 1592 to 1614. Surrounded by the autumn red leaves in Nov, the castle looks just as solid and shiny in the blue sky as a brand new one. The answer is that when the donjon (central fortress) was completed, Japan was a consolidated nation under one government in Edo. No battle was ever fought here after that. Therefore, the castle, though designed to be used as a fortress turned out to be a symbol of power and later a representative of cultured lifestyle as two additional turrets were attached to the donjon. Besides above reason, in the end of 19th century, Matsumoto citizens raised money, bought the castle for the city, and restored it to its former glory.

Visitors are supposed to take off their shoes while visiting the interior of the building. Plastic bags are distributed for visitor to store their shoes and carried all the way till they go out from another outlet. I am not sure the heavily armed ancient soldiers took off their shoes or not. But personally, I do think the tradition of taking shoes off do reduce the worn-out of the interior. And it added a Japanese flavor while feeling the history. Besides

your hands, your feet touched and sensed the smoothness of the wooden floor and stairs due to 400 years of usage.

It was close to 5pm when we arrived in Obuse, a city famous for chestnut and painting. Walking down the slope path among the shopping area and museums, we could see the yellow cozy light coming either from Japanese style square lamps in front of shops, or the round paper lamps through the grid sliding doors. It erased in my heart a mixed feeling of peace, warm, missing of beloved ones, little sad of such a beautiful day had to come to an end. It was very Japanese style feeling, I guess. It probably also explained, why, besides chestnut ice cream, so many of us stopped in a paper shop and bought gifts purely made of a kind of special Japanese paper. There is no better way to express us and saved the memory by sharing the beautiful experience with our friends and family as I am doing now by writing this short diary.

報告：イベント部会押見

山澤逸平学長・高橋孝雄 事務総長と懇談会の報告

10月23日、国際大学学長・事務総長と運営委員7名による懇談会が開かれました。井口会長より、(1)大学に夢っくすの連絡窓口を置くこと、(2)夢っくす事務局の電話・ファックス番号の使用、(3)サロンを夢っくすの活動拠点とすること、ならびにサロン内の学内LAN使用の3点をお願いしました。

高橋事務総長からは、はじめに大学としては積極的に地域交流活動を推進する立場であり、学内インフラの使用はできるだけ要望に添えていく立場であるとお話がありました。要望については、(1)担当者については他団体からの要望とあわせて検討すること。(2)(3)については了解する。但し、学内LAN使用については、セキュリティの観点から利用団体の規定を含めて運用ルールを作成し、検討するとの回答がありました。また、今後も大学と夢っくすとの定期的な意見交換の場を持つことを確認しました。

報告：事務局



↑キッズサロンの折り紙教室



↑フリマ商品を楽しそうに品定めする留学生↓



サロン部会

●サロン部会キッズサロンの報告

10月18日(土)にキッズサロンを開催しました。今月はUMEX会員の牛木陽子さんのところのおじいさんをお招きして折り紙をしました。連絡不足にも関わらず、マレーシア、ウズベキスタンの子供達と地元の子供等合わせて10名とその保護者でサロンは一杯になりました。子供達は最初は珍しい折り方を教えてもらい、それから自分達の思い思いの作品を作ったり、飛行機を作って外で飛ばしたりと大喜びでした。でも最後まで一生懸命に折っていたのはむしろ保護者のほうで、お茶を飲む暇もなく最後まで真剣にペンギンやカニ等を作っていました。

た。折り紙は言葉が通じなくても大人も子供もこんなに夢中にさせてくれるものであるのだと、改めて気づきました。また今後も牛木さんをお招きして折り紙教室を開けたらと思っています。

●サロンからのお知らせ

11月のキッズサロンは11月29日(土)に七五三を予定しております。現在、男児用の着物の手配がまだできておりません。どなたか無償でお貸しして頂ける方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

サロン部会：高橋

事業部会

●初めてフリーマーケットに挑戦

10月11日に冬物衣料を中心にしたフリーマーケットを開催し、40点以上を即日販売しました。集まった品物は女物が多かったのですが、来場者の大半が男性で、需要と供給に若干ミスマッチを感じました(国際大学の学生：男性73%・女性27%)。衣料品の他に、電子レンジ、アイロン、炊飯器の提供があり、第1回の総売上は14,900円になりました。

●ホームビジットプログラム

ホームビジットは学生の参加希望に対して、受入して下さる家庭の数が追いつかない状態です。数は少ないものの、ホームビジットにお招きいただいた学生が、オープンデーにホストファミリーをお招きするといった家族ぐるみの交流が始まっていることを嬉しく思います。

事業部会：大平、武田



↑ホームビジットプログラム

一期一会の縁を大切に。11月7日、稲刈りツアーのレポートを翻訳してもらった縁で酒井卓吉さん宅に招かれたイジョウ君(右)とミハイ君(右から3番目)。



多言語支援部会

●日本語チューターペアの紹介

藤谷克江さん・スプハンさん（インドネシア）

「会うのが今日でまだ2回目なんです。今日は『過去の言い方』と『週末の予定などの言い方』を中心に話しました。でも、話がついつい脱線してしまうので、あっという間に時間が経ってしまいます。」と藤谷さん。スプハンさんは「今日の夜、小出のスーパーへ買い物に行きます。金曜日、安いです。」と、早速習った言い方で私に話しかけてくれました。

藤谷さんは2年半ほど前に大和町に引っ越してこれ、お子さんが学校へ行っている時間は空いてしまうので、軽い気持ちで日本語会話パートナーを始めました。いろいろな国の留学生と接するうちに、そういえば中学生の頃、将来は外国人と接するような仕事をしたいと夢見ていたっけ・・・と忘れていた自分の内面を再認識したそうです。また、6月まではウズベキスタンとアゼルバイジャンの学生のチューターをしていたので、中央アジアの国にも目を向けるようになりました。これからはスプハンさんにインドネシアのことを教えてもらうのが楽しみです。今はお仕事を始めてお忙しい藤谷さんですが、時間をやりくりして日本語での交流を楽しんでいる優しい笑顔が素敵でした。

※夢っくすでは、ある程度日本語が話せる外国人と会員がペアになって日本語で交流する「日本語チュータープログラム」を実施しています。夢っくす会員なら、特別な資格や英語力がなくてもどなたでも会話パートナーになれます。常時受け付けていますので、お気軽にお申し込みください。日本語担当：おおひら悦子

研修部会

●国際理解教育講演会の案内

国際理解教育の推進・実践に向けての理解を深めるため講演会の開催します。

いつ：11月29日（土）

午後2時～4時30分

どこで：大和町役場 3階大会議室

対象者：夢っくす会員

講師：文化庁文化部国語科

日本語教育調査官 野山 広 氏

申し込み先：研修部会井口

事務局まで

●英会話教室受講者の紹介

10月8日から英会話教室がスタートし、すでに半分の日程が終了しました。教室での会話が全て英語で戸惑いを感じている受講者や、まだ物足りないという受講者の方もいらっしゃると思います。今後はこのような受講者の声を取り入れた英会話教室を企画していきます。今回は英会話教室開講当初から参加している篠田ヒサさんの感想を紹介します。

「いつもビギナーです。」英語ですべての生活ができる国際大学が出来た時、大学を訪ねた。音は聞こえるのだが、まったく何を話しているのかわからない。これはミツパチの集団のようだった。そこで留学生を講師にしばしば英会話教室を開いてきた。その後夢っくすが立ち上がり、英会話教室を始めたので早速参加した。1回目、2回目、3回目、4回目もビギナー…。それでも1回目よりも2回目のほうが理解できる発音や単語の数が確実に増えてきた。講師の留学生との交流を楽しみながら、テキスト無しでロールプレーができるようにと、ルンルン気分ががんばっている。そして、いつか英語のスピーチが理解できるように。

外国語担当：柳瀬

広報部会

●かわらばん原稿の提出方法の変更

各部会からの原稿や会員皆様からの投稿により編集、発行しているかわらばんですが、来月より原稿の投稿方法を以下のように変更しますので、ご協力をお願いします。

投稿先：夢っくすオフィスメールアドレス

office@umex.ne.jp

投稿〆切：発行月の5日まで

（12月号は12月5日まで）

文書の場合：ワード等のファイルかテキスト文書でA4用紙1枚程度まで。

写真の場合：jpgファイルで200kb程度まで、ファイル名に写真の簡単な説明を入れてください。（例）英会話教室の様子講師はキャリアさん
投稿どしどし待っています。

広報部会：畔上、高津戸



↑日本語チューターペア
藤谷さんとスプハンさん



↑日本語教室の皆さん



↑英会話教室の様子
講師はキャリアさん

<http://umex.ne.jp>
office@umex.ne.jp



夢っくすカレンダー 2003年11月～12月

日	月	火	水	木	金	土
16	17	18 夢っくすサロン	19 英会話教室（昼夜）	20 英会話教室（夜）	21 夢っくすサロン	22 15:00特別サロン 18:00UJオープナー
23	24	25 夢っくすサロン	26 英会話教室（昼夜）	27 英会話教室（夜）	28 夢っくすサロン	29 13:00キッズ・サロン 14:00野山氏講演
30	12/1	2 夢っくすサロン	3	4	5 夢っくすサロン	6 13:30運営委員会
7	8	9 夢っくすサロン	10	11	12 夢っくすサロン 母国紹介中国（予定）	13
14 12:00もちつきパーティー	15	16 夢っくすサロン	17	18	19 夢っくすサロン	20

会員紹介コーナー 第15回

①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技④夢っくすですてやってみたいことは⑤今やっている国際交流⑥一言どうぞ！

会員NO.170 藤塚依美さん

- ①ロシア!! (ロシア語圏ならどこでも)
- ②1番ロシア語、2番英語、3番日本語、4番アラビア語、他たくさん
- ③いろいろな外国語の独学（つまみ食い）、社交ダンス、競技カルタ（百人一首）、読書、音楽全般（特に声楽）
- ④何でも、折り紙教室はやりたいですね～。
- ⑤UMEX、海外との友達との文通など。
- ⑥IUJから森をはさんで真横にある北里大学保健衛生専門学院の看護科2年生です。たぶん最年少、成人に成り立てのビッチビッチプリです。まだまだおしりの青いハナタレ小僧ですが、よろしくお願いします。



●新会員の紹介

- 182番 上村夕子さん
 - 183番 神辺和加さん
 - 184番 戸屋直美さん
- よろしくお祈りします

事務局だより

●夢っくすでは会員向け「かわらばん」の他に、地域向け広報紙「夢っくすニュース」を発行しています。第5号が11月22日に発行されます。大和町、六日町、小出町の三町には役場において全戸配布する予定です。残部はサロンに置きますので、夢っくすの紹介にお使ください。

●11月22日の国際大学オープナーの日は、参加者のために午後3時からサロンを開きます。修了生のズキンさん、ボグダンさん、ジジさんから帰ってくると連絡がありました。また、10月にスリランカへ渡った修了生の野村幸平さんから、オープナーには帰れませんが、ホームページで夢っくす活動を楽しそうに拝見していますという便りが届きました。夢っくすネットワークの広がりを感じます。

●1月10日に学生と夢っくすの共同プロジェクト第2弾として「異文化理解講座・インド編」を開催します。地域の人たちに異文化理解の機会を提供することが目的ですが、同時に学生と一緒にプログラムを作っていくプロセスに意義のある企画です。プログラム作りや広報、当日の会場設営や学生サポートが主な仕事です。興味のある方は事務局までご連絡ください。

紹介文章のとおりフレッシュなエミちゃん、若い力を夢っくすの活動でもおもいきり発揮してください。



うおぬま国際交流協会
UONUMA Association for Multicultural EXchange UMEX

〒949-7277
新潟県南魚沼郡大和町大字穴地新田777番地
国際大学内 UMEX事務局国際交流サロン
TEL:025-779-1439/1520
FAX:025-779-1180
E-Mail: office@umex.ne.jp

[担当者連絡先]

サロン:坂西:025-777-3313 高橋:025-773-3123
広報:畔上:070-5083-8465 イベント:星野:090-4549-6955
押見:02579-2-9329 研修:井口:090-5329-8234
外国語:柳瀬:02579-2-0888 日本語:大平悦子:02579-2-9840
事業:大平智子025-777-3011 事務局:武田025-779-1439

[編集後記]

●ただいま台湾にて国際交流&かわらばん原稿取材中、次号?で旅行レポートを報告します。(mayumige)

●夢っくすオフィスパソコンのメール環境で望んだ編集作業、パソコントラブルの対応で発行がのびのびになったことをお詫びします。改めてパソコンに頼っている編集を痛感、手書きで味のあるかわらばんもいいかも?(aze)

